

学生議会における 市政に対する一般質問

14人の学生議員が市政全般について質問を行いました。学生議員が質問を考えるにあたり、事前にサポート議員がアドバイスをを行い、当日の回答にあたっては答弁議員が対応しました。

Q 越谷サンシティの再整備について

土屋 海智

学生議員



答弁議員

齋藤 豪人 議員

サポート議員

野口 高明 議員

問 学校や家庭以外における子どもの居場所が重要視される中、越谷サンシティについて、図書館・公民館等を一体化した生涯教育複合型施設として再整備することで、市民の安心・安全な居場所を創出し、市の活性化につなげる考えは。

答 越谷サンシティについては、学識経験者や関係機関、市民等からなる審議会において今後の方針に関する審議が行われることとなっており、市としてはその答申を真摯に受け止め、方針を決定したいと考えている。また、子どもの居場所や図書館等の機能については、各地区での取り組みも必要であることから、関係各所と連携を図り調査研究していきたい。

Q 障がい児の教育支援について

武井 陸真

学生議員



答弁議員

小口 高寛 議員

サポート議員

山田 大助 議員

問 肢体不自由学級や通級指導教室を設置していない学校が多く、特別支援教育支援員も平成30年の配置希望40校に対して34校の配置にとどまっている。特別支援教育の充実に向けた今後の取り組みは。

答 肢体不自由学級については、児童生徒や保護者のニーズに応じて新設・増設していく。また、通級指導教室については、教員の配置等を決定する埼玉県教育委員会に対し要望を行っている。さらに、特別支援教育支援員についても毎年増員を図っている。今後も各学校において保護者と共通理解を図りながら、個別の教育支援計画および指導計画の作成・活用を行うなど、特別支援教育の充実に向けて取り組んでいく。

Q 学生機能団別消防団の活用について

高村 隆一郎

学生議員



答弁議員

工藤 秀次 議員

サポート議員

竹内 栄治 議員

問 学生機能団別消防団について、実戦経験や訓練日数が不足しており、災害時に即戦力として活躍できるのか懸念がある。応急手当や避難所運営力の強化、消防団等との連携、災害地への派遣を行う考えは。

答 大規模災害発生時に学生機能別団員が適切に任務を行うことができるよう、年間計画を定めて訓練を実施しているほか、消防団活動の基本となる規律訓練を基本団員と合同で毎年実施している。また、災害地への派遣については、災害の規模等を把握したうえで慎重に判断する必要がある。今後も継続して訓練や研修を実施していくとともに、その任務についても、活動運営会議等を通じて周知していきたい。

Q 乳幼児への健診について

須賀 真祈

学生議員



答弁議員

横井 聖美 議員

サポート議員

伊藤 治 議員

問 乳幼児の発達課題の早期発見や子どもの健やかな成長のため、乳幼児健診を受診することが重要であると考えますが、市における現在の受診率と受診していない家庭への対応策は。

答 令和5年度における乳幼児健診の受診率は4か月児健診、10か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診のいずれにおいても90%以上であったが、かかりつけ医での受診や体調不良、市外転出、受診忘れなどの理由で100名から200名の乳幼児が受診できていなかった。未受診の乳幼児に対しては、保健師が個別に電話連絡や家庭訪問を実施し、健康状態・発達状態の把握に努めている。

Q 越谷市の水害対策について

林 実生

学生議員



答弁議員

土屋 来夢 議員

サポート議員

久保田 茂 議員

問 市内には5本の1級河川が流れ、川沿いに住居や保育所が多く存在している。避難所の多くも川の近くに設定されているが、氾濫時にも安全なのか。

答 災害時には周囲の状況を確認しながら最寄りの避難場所に向かうことが重要であり、川付近の避難場所では敷地が浸水することもあるため、その場合には垂直避難が有効となる。市としても浸水被害に対応するため、調整池の増強工事やポンプ場の増設、中川・綾瀬川流域治水協議会での広域的な流域治水対策を進めているほか、「まるごとまちごとハザードマップ」の設置や防災ラジオの有償配布、道路縁石への浸水センサーの設置等にも取り組んでいる。

Q 少子高齢化社会におけるシティプロモーションの在り方について

高橋 悠真

学生議員



答弁議員

清田 巳喜男 議員

サポート議員

野口 佳司 議員

問 人口減少社会においてシティプロモーションは重要であり、今後、市民の郷土愛の醸成をどう図っていくのか。また、SNS等による情報発信の方法についての考えは。

答 「越谷市シティプロモーションアクションプラン」に基づき、今年度は「水郷こしがや」として発展した歴史・文化等をテーマにした動画や冊子等の制作に取り組んでいる。さらに、情報発信の方法について、今年度は、若い世代をターゲットとして、インスタグラムを活用した「越谷市役所プロモーションZ係」事業を立ち上げたところであり、積極的な情報発信に努めていく。

